

老 健 いばらき

第42号

2013.2.1



写真提供 / 古河市観光協会

『古河桃祭り』

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／小柳 賢時

編集人／つくばリハビリテーションセンター
ゴーエン美浦

涼風苑
編集／協和ヘルシーセンター
田尻ヶ丘ヘルシーケア
博 純 苑

市原健一
岩瀬剛
池田八郎
長山辰治
石川達也
渡辺キヨ子



一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

新年を迎えて 年頭のご挨拶

会長 小柳賢時

新しい年が始まりました。今年も宜しくお願い申し上げます。

私事ですが、昨年6月に初めての入院生活を経験することになり、茨老健の理事の先生方始め多くの方々にご迷惑とご心配をお掛けしましたこと、申し訳なく思つてあります。

暮の衆議院総選挙が終わり、政権交代がなされました。社会保障の一つである医療・介護サービスの提供がさらに充実され、現場で働く人々が魅力を感じられる改革がなされ、明るい雰囲気になるよう期待しております。

医療・介護報酬同時改定において、老人保健施設は大変厳しい改定結果となり、苦しい施設経営から運営や施設の存続自体の危機まで生じております。その中、全老健が公益法人となるにあたり、会長選挙が行われ、会長交代となり、新会長が誕生しました。厳しい介護報酬改定の結果とも考えられ、最多的の会員数を擁する関東・甲信越ブロックからの理事も、副会長や常務理事に選任されない状況です。

Tなど医療資源を合わせ持ち、看取りなどを含め少子高齢社会において重要な施設です。

在宅へと言われる中で、それぞれの地域で施設の重要性を鑑み、地域包括ケアシステムにおいて中心的な役割を果たしていきたいと思います。

老健の経営の安定化やスタッフの処遇向上の施策を求めていくために、県単位の連盟組織や全老健連盟加入促進が求められてあります。今後会員皆様方のご意見を賜りたいと思います。同じ目的を持つ茨老健の仲間として、今年も協力して力を発揮していきましょう。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

副会長 大場正二

平成25年 謹賀新年
明けましておめでとうございます。

昨年年末の総選挙で民主党政権は惨敗し、自民党政権が誕生しました。しかし、自民党政権が社会保障政策をどのように進めてゆくのかまだ判然としておりません。昨年の診療報酬改定において介護保険の分野では殆ど

の会員の皆様が明るい気持ちでこの超高齢化社会を乗り切つて行かなければならぬと考えます。併せて会員の皆様のご多幸の年になりますことをご祈念申し上げます。

老人保健施設協会の会員の皆様が明るい気持ちでこの超高齢化社会を乗り切つて行かなければならぬと考えます。併せて会員の皆様の共通認識を持たねばならないと思います。介護の経営者、従事者ばかりでなく高齢者やその家族までが高齢者医療や介護の在り方への共通認識を持たねばならないと思います。

それから、この期間の医療や介護の在り方が重要視されております。

医療費抑制政策の一環として病院や介護施設に入らずに行き場を失う高齢者が増えてゆきます。それらの高齢者を在宅で受け入れることが出来るかどうかが問われています。在

宅は受け入れ可能な家族がない限り難しいのが現状です。出来る限り家族で受け入れ可能な高齢者は施設でと、すべての国民が平等に医療や福祉を享受できる社会でなければなりません。この中から超高齢化社会の直面する新たな課題が見えてきます。

高齢者医療は急性期から亜急性期、回復期、維持期、生活期、看取り期までを視野に入れ

た適切な対応を求められてあります。医療、介護の経営者、従事者ばかりでなく高齢者やその家族までが高齢者医療や介護の在り方への共通認識を持たねばならないと思います。

さて、昨年4月に地域包括ケアシステムの実現に向けた改正介護保険法が施行され、新たな介護サービス等の創設や医療と介護の機能分化・連携強化等の視点に立った介護報酬の改定等が行われました。さらには、将来の社会保険制度のあり方を検討するための「社会保険制度改革国民会議」が設置され、本格的な議論がスタートいたしました。県とともに、会議の動向を注視しながら対応していくことを考えております。

現在、本県におきましては、誰もが健康で生きがいを持ち、高齢期を主体的に暮らせる

環境づくりを政策目標に、地域包括ケア体制の推進を重要な施策の柱に掲げて、昨年3月に策定しました「第5期いばらき高齢者プラン」に基づき、各種の高齢者施策を市町村、関係団体、県民の皆様との連携を図りながら着実に進めております。

会員の皆様方におかれましても、地域包括

ケアシステムのなかで介護老人保健施設が、地域の高齢者福祉・介護の拠点として、重要な手として期待されておりますので、引き続き利用者の立場に立ったケアやリハビリ

げます。

昨年は、大きな被害をもたらしました東日本大震災につきまして、会員の皆様はじめ県民の方々のご協力により、被災した施設の復旧をはじめ社会基盤の早期復旧が着実に進んでいるところです。県としましては、

平均寿命と健康寿命の差は「不健康寿命」と

老健いばらき

テーションなど、質の高いサービスを提供されますようお願い申し上げます。

むすびに、今後とも、本県の高齢者福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、茨城県介護老人保健施設協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

功労者表彰

受賞にあたつて

介護老人保健施設 さくら

居宅管理者 田所 明美

平成8年に開設した老人保健施設さくらに勤務したのが、翌年の平成9年4月でした。以前は、病院に長く勤務していたこともあり、訪問看護希望で就職したものの、入職してみますと、在宅介護支援センターの看護師としての仕事でした。福祉や保健のことなどほとんど分からず、戸惑いの日々でした。しかし、経験豊富なソーシャルワーカーや土浦市高齢福祉課の担当者の方々にも色々とご指導いただき、3年が経ちました。

平成12年4月、介護保険制度が始まり、居宅介護支援事業所の介護支援専門員としての2足のわらじで無我夢中で15年間仕事をしてきました。たくさんのお会いや別れがある中、印象に残るご夫婦がいらっしゃいます。子供がなく、ご親戚とも疎遠になり、老後に不安を抱えていたご夫婦でした。奥様の認知症の進行やご主人の入院など、様々な事がありましたが、老人保健施設を上手く利用しながら

暮らしていました。また、子供のないご夫婦にとって、施設の職員とのコミュニケーションも、楽しみの一つとなっていましたように感じます。介護保険制度を理解して、業務が出来たからこそ不安なく生活できる人がいる。そのような人々を今後も支援できるよう、日々精進していきたいと考えております。この受賞にあたり、ご指導いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

永年勤続者表彰

受賞にあたつて

介護老人保健施設 さざんか荘

調理員 市野塚 幸子

今回このような賞をいただきありがとうございました。常に安全で美味しい樂しめる食事を提供することを考えながら厨房職員として18年間働かせていただきました。この度人生の節目にあける60歳に、このような素晴らしい賞をいただける事を大変うれしく思います。これも職場の皆様のご指導の賜物と感謝

ます。お年寄りが多く、職員と一緒に家庭菜園をしたり、おやつ作りをしたりと楽しい時間過ごしたものでした。私達厨房職員も日々の生活の中で食事を通して施設利用者様と寄り添っていたように思います。

その後、介護保険制度が導入され、施設利

用者様の平均介護度が4.1になり、身体状況の重度化がみられ、自分で食事をとることが出来ず、介護を必要とする方が増えてきたと思っています。

私達厨房職員は「食事の善し悪しが施設の評価の一つになる事もある」と先輩たちに教えられてきました。食事は命を繋ぐと同時に、その方の生きる力になるものです。私達が作る食事を食べてみたい、又その食事を食べて楽しく元気に過ごしていただける事が私達厨房職員の幸せでもあります。

これからは、さざんか荘で学んだことを支えに家族、地域の方々のお役に立てる存在になればと思います。本当にありがとうございます。



『功労者職員』表彰者一覧

施設名	職名	氏名	勤続年数	年齢
温泉リハビリセンター 虹の丘	看護師	星 京美	13年	52
こぎょうの里	事務長	古沢 京子	14年	54
さくら	居宅管理者（看護師）	田所 明美	15年	50
さざんか荘	介護支援専門員（看護師）	井関 深雪	15年	40
シニア健康センター しおさい	看護師	鈴木由紀子	14年	49
シリバービリッジ	看護職員	鶴田 鶴代	11年	56
しろかね	管理部長（看護師）	大里 良乃	13年7ヶ月	64
ナーシングホーム かたくり	介護主任（介護福祉士）	田代 典子	11年	45
平成園	介護支援専門員	中村 福江	10年	58
ゆうゆう	清掃	中村 昭一	10年7ヶ月	68

『永年勤続者』表彰者一覧

施設名	職名	氏名	勤続年数	年齢
エバーグリーン	看護師	林 恵里奈	10年5ヶ月	34
大宮フロイデハイム	介護職	皆川真鈴子	10年	30
温泉リハビリセンター虹の丘	介護福祉士	石井 正子	13年	55
温泉リハビリセンター虹の丘	介護支援専門員	佐藤 知子	13年	57
温泉リハビリセンター虹の丘	支援相談員	菊池佐久子	13年	53
温泉リハビリセンター虹の丘	調理師	菊池由美子	13年	52
温泉リハビリセンター虹の丘	介護士	石井 季子	13年	58
協和ヘルシーセンター	准看護師	海老原政枝	16年	47
協和ヘルシーセンター	介護福祉士	水越加代子	13年	37
くじらヶ丘	ティケア	茅根 弘子	10年9ヶ月	52
くじらヶ丘	ティケア	中島千穂子	10年9ヶ月	61
くじらヶ丘	事務	和田 幸子	10年9ヶ月	38
くじらヶ丘	事務	岡田みゆき	10年9ヶ月	36
こぎょうの里	介護職員	岡本 裕美	14年	33
さくら	看護職員	土田 洋子	10年	54
さくら	医介護（支援専門員）	高橋佐知子	16年	36
さくら	居宅介護（支援専門員）	園田 祥弘	15年	35
さくら	居宅介護（支援専門員）	竹俣 宣子	16年	39

さくら	看護師（准看護師）	山口 有美	10年	34
さざんか荘	介護職員	轟部佐知子	17年7ヶ月	46
さざんか荘	調理員	市野塚幸子	17年	59
シニア健康センター しおさい	看護師	石ヶ森治子	10年	53
シニア健康センター しおさい	介護士	草野 美香	10年	30
シリバーケア土浦	管理栄養士	濱田 亨	10年9ヶ月	57
シリバーケア土浦	支援相談員 係長	石坂 智穂	11年2ヶ月	38
シリバーケア土浦	看護主任	上山英美子	10年4ヶ月	39
シリバーケア土浦	看護師	椿 景子	10年2ヶ月	41
シリバーケア土浦	介護福祉士	柴原由香里	11年8ヶ月	33
シリバーケア土浦	介護福祉士	濱田 彩子	11年6ヶ月	32
シリバーケア土浦	介護福祉士	鶴田 聰	11年1ヶ月	31
シリバーケイリッシュ	介護職員	大嶋 元	10年11ヶ月	40
シリバーケイリッシュ	介護職員	酒井 一美	10年8ヶ月	40
シリバーケイリッシュ	介護職員	岡本 雄一	11年5ヶ月	41
シリバーケイリッシュ	介護職員	出沢 京子	10年4ヶ月	61
シリバーケイリッシュ	介護職員	吉成 幸子	16年	38
シリバーケイリッシュ	介護職員	須藤由里子	13年	34
しきね	ケア主任（准看護師）	坂入 邦子	13年7ヶ月	52
青嵐荘ケア・アシスタンス	副主任	川面美恵子	10年	50

「地域連携診療計画 情報提供加算について」

地域連携診療計画（以下、地域連携パス）とは、急性期病院と回復期病院が共同で標準的な治療計画（転院・退院の基準や、治療全体の流れ）を定め、お互いの役割分担を一般の方にも見えるよう形にしたものです。この地域連携パスを作成し、パスに沿って治療を行うことにより、急性期病院と回復期病院はそれぞれが診療報酬を算定することができます。現在、医療機関ではこのような取り組みが脳卒中と大腿骨頸部骨折を対象に盛んに行われています。

平成 22 年度からは、医療機関退院時に老健等の介護機関へ情報提供を行った場合にも診療報酬を算定できるようになり、医療と介護を繋ごうとする取り組みが後押しされてきていると言えます。このような流れを更に推進する手段の一つとして、今回の診療・介護報酬同時改定で新設されたのが『地域連携診療計画情報提供加算』です。これは、急性期病院と回復期病院で作成した地域連携パスに老健施設を加えたものとして捉えることができます。具体的には、パスに沿って治療を受けてきた患者を老健施設が受け入れ、老健施設から急性期病院へ情報提供を行うことにより算定することができます。

私が勤務している県央・県北地域では、地域連携パスを作成して地域全体の脳卒中医療の質を向上させようと、『茨城県央・県北脳卒中地域連携パス研究会』が日々活動を行っています。

医療法人博仁会 介護老人保健施設 大宮フロイデハイム
理学療法士 梅澤 健

研究会には、合計 43 の病院・介護事業所が参加しており、その内 13 施設は老健施設です。年 3 回の定例会議を中心に、お互いが連携を深めるための活動を行っており、地域全体でよりよい医療・リハビリ・介護が提供できるよう頑張っているところです。研究会の活動は 6 年目を迎えており、本格的に老健施設と医療機関を繋ごうという段階にきています。老健施設での加算算定も少しずつではありますが増えてきている状況です。私はこの研究会の中心的メンバーの一人として活動していますので、ご興味をお持ち頂けましたら是非ご連絡ください。

地域連携パスの中に老健施設が加わったことにより、医療保険と介護保険の双方を有効的に繋ぎ、地域全体で患者・家族を支援していくための枠組みができたと考えられます。

『地域連携診療計画情報提供加算』を算定するためには、各地域で行われている連携パスの集まりに老健施設が参加する必要がありますが、医療機関と老健施設の双方がどのように連携体制構築に向けて活動していったらよいか分からないという状況も考えられ、なかなか進めることができない地域もあるのではないかでしょうか？お互いがお互いの力を必要とする段階にきていると思いますので、是非、老健施設の皆様からも積極的に仲間に加わっていってほしいと思います。

「口腔機能維持管理加算について」

平成 23 年度までの口腔機能維持管理加算で行われていた施設内連携による口腔ケア体制は、平成 24 年度介護報酬改定により、口腔機能維持管理体制加算と名称を変え、新たに入所利用者様に対して歯科衛生士が月に 4 回以上の口腔ケアを行うことにより算定できる口腔機能維持管理加算が創設されました。この加算は歯科衛生士が個別に関わる事への評価と期待として受け止めて開始しました。

まず口腔機能維持管理体制加算では、歯科衛生士が行う口腔アセスメントにより全利用者様の口腔情報を毎月一覧にして提出し、職員全体に情報提供を行っています。高齢者の口腔は疾患や体調の変化、人間関係、住環境等によっても非常に影響が現れやすい器官であり、その変化に対する速やかな対応は利用者様の健康・生命に大きく関わるといつても過言ではないと思います。

歯科衛生士は、ハイリスク者をさらに抽出し、栄養・口腔会議での協議を経て口腔機能維持管理加算の対象リストに加えます。対象者様とご家族様に対して口腔の様子や伴う諸リスクについて、歯科衛生士が直接説明し、施設の口腔ケアサービスについて意向・希望を確認しながら話し合い、プランに印鑑を頂きます。まだまだ耳新しい口腔ケアの理解を頂くための説明を感じたのは、どなたも誤嚥性肺炎にはなりたくない、安全な食事を楽しみたいという強い願いをお持ちであり、それぞれに細

医療法人社団八峰会 介護老人保健施設 涼風苑
歯科衛生士 酒井 由美

やかで大切な“想い”がある事ということでした。

口腔ケアは綺麗な口で美味しく食べる、言葉が話しやすくなる、誤嚥性肺炎予防に有効である他に、歯磨きでは、口と手を動かす事で食事動作への影響が期待でき、口への刺激による覚醒効果があると言われています。環境が変わり、歯みがき習慣が途絶えてしまう事で口腔機能の低下が引き起こされることもよくみられます。使いなれた歯磨き用具を用意して頂く事で、認知症があっても新しい住環境で歯磨き習慣が保てることもあります。歯ブラシや歯間ブラシ、歯磨き剤等小さな物が多く必要な口腔ケアですが、それらを管理することも個別ケアを支える間接的口腔ケアだと考えています。

麻痺や廃用のある口腔は摂食嚥下障害の悪化をきたしかねません。介護職員は日常的な口腔ケアを担当し、歯科衛生士は口腔周囲の筋肉をほぐしたり筋力強化の体操を行ったりする専門的なケアで、頬がやわらかく動きよくなったり、唇がしっかりと閉じて飲み込みがよくなった等の改善をはかります。また、人生的の最後を施設でお迎えになる方には、日々変化する口腔に対し、歯科衛生士がほぼ毎日口腔ケアを実施しますので加算の対象にさせて頂いています。

口腔ケアは介護分野で今後ますます発展する分野です。私達歯科衛生士は利用者様によりよい支援が出来るよう一層の努力をしていきたいと思います。

「利用者さんとの信頼関係は コミュニケーション」

当施設に就職して早くも十年が過ぎようとしています。就職して一年間は看護助手をしていました。その後介護福祉士として働いています。

介護士として働く前はずっと、介護の仕事は楽だと思っていたのですが実際に働いてみて「ただ、人のお世話をするのが好き」だけではダメなのだと改めて実感しました。また、介護をするにあたり、一人ではなくチームケアが大切なのだと思います。そして介護は人と人とのコミュニケーションが大切です。最初は冷たくあまり話してくれない利用者様でも、何度でも声掛けしているうちに心を開いてくると思います。あきらめず声掛けをすることが大事だと思います。また職員同士意見を交換しコミュニケーションをはかることも大事な事だと思います。

介護の現場で働いていると辛いこともあります、楽しい事や嬉しい事もあります。前向きにと思っても傷ついたり落ち込むこともあります。毎日利用者様のお世話をし、いろいろな業務に



勝田

介護老人保健施設 勝田

介護福祉士 平石 香苗

追われ大変なこともたくさんありますがリフレッシュし自分に優しくすれば、人にも優しくすることが出来るのではないかと思います。利用者様の話をゆっくり・じっくり聞くことが出来るように努力しなければと思います。

私たちは何かをした時に利用者様に「ありがとう」と言わると気持ち良いが、「ありがとう」と言われたくて仕事をしているのではないということを忘れずにしようと思います。利用者様本人が出来る事はやつてもらい、出来ない部分を手伝うのが大事だと思います。

就職して十年が経つと新人を育てていく立場ではあります、私自身まだ新人を育てていく立場ではないと日々感じています。何故ならば、時には事故でトラブルが起る事もあります。例え自分が失敗したことでなくとも、ミスや失敗は自分の責任であると思えるようならなければと思います。他の職員の意見を聞き入れてこれからも良い介護が出来ればと思います。



「元気アップ教室 in もえぎ野」

介護老人保健施設もえぎ野は、平成22年4月に開設したばかりの新しい施設です。私は作業療法士1年目として、施設では入所利用者様と通所利用者様に対し、心と体のリハビリテーション作業療法を行っています。同じリハビリテーション部の理学療法士をはじめ、他部署の職員と一緒に仕事をしていく中で、知識、技術等の相談も出来、心強く仕事に励むことが出来ています。

今年は、地域の介護予防事業の一つ「元気アップ教室」を私が担当することになりました。教室は、3ヶ月にわたる全12回とし、1日の流れは運動前バイタルチェック、準備体操、筋力アップ体操、口腔体操、お茶飲み休憩、運動後バイタルチェックとしました。

教室開催にあたり、教室開催スペースを他部署と時間帯で区切り共有できるよう交渉したり、施設設備品を他部署と貸し借り、



介護老人保健施設 もえぎ野

作業療法士 内田 君枝

教室参加者の送迎を事務職員に依頼する等、他部署の職員の協力が不可欠でした。また、地域で暮らす高齢者の方の本当の声が聞け、「最初は教室に参加するのは面倒だし、知らない人ばかりで不安だった。けれど、回数を重ねると、他の参加している人の顔も覚えるし、教室へ行くことが生活の活力になる。」との声をいただきました。教室に来ることが目的になるのでは介護予防事業の本当の目的とは離れてしまいますが、今回のように、高齢者の方が家から出て人と会うことの大切さを実感できたのは、教室開催の効果かと感じました。

今後も今回の介護予防教室での学びを活かし、地域で暮らす方々に信頼される施設づくりに努めていきたいと思います。

平成24年度 一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会事業実施状況報告

リハビリテーション専門委員会	事務専門委員会	栄養専門委員会	支援相談員専門委員会	看護・介護専門委員会	(職種別専門委員会)	学術委員会	広報委員会	理事会	社員総会	
H24.7.20 第2回	H24.5.13 第1回	H24.8.22 第1回	H24.7.24 第2回	H24.11.30 第1回	H24.6.22 講義:「感染症対策について」 講師:鈴木あや子 看護師:土浦共同病院 認知症看護認定看護師:門脇知己氏 参加者:91名	H24.9.28 講義:「認知症について」 講師:県立中央病院茨城県地域がんセンター 認知症看護認定看護師:門脇知己氏 参加者:81名	H24.11.6 第2回 老健いばらき第41回発行について 発行部数:4300部	H24.6.6 第1回 研修会費の徴収について 平成24年度事業実施状況報告について 平成24年度事業計画案(予算案)について 平成24年度事業報告(決算報)について 平成24年度事業費改定について 功労者永年勤続者職員表彰の選考について 老健いばらき第42回発行について 第20回研究発表会開催・スタッフ役割分担について	H24.6.28 第1回 会則の部委員について 被災施設の年会費免除について 研修会費の徴収について 平成24年度事業実施状況報告について 平成24年度事業計画案(予算案)について 平成24年度事業報告(決算報)について 平成24年度事業費改定について 功労者永年勤続者職員表彰の選考について 老健いばらき第41回発行について 第20回研究発表会開催について	H24.6.28 第1回 社員総会
講義:「リスクリスク管理について」 講師:石岡脳神経外科循環器科病院 テレーズ 理学療法士 黒澤保壽氏 参加者:96名	講義:「総会及び介護保険制度の概要」 講師:あしきん総合研究所経営サポート部主任 任研究員:野内比佐子氏/影山明美氏 介護保険制度報酬委員会委員 添田伸之氏 講義:「介護報酬改定後の進捗状況について」 講師:特別養護老人ホーム愛友園 管栄相談士:矢代あや子氏 参加者:66名	講義:「接遇全般について」 講師:老健エリックア新吉田 事務長 全老健 テレーズ 理学療法士 黒澤保壽氏 参加者:96名	講義:「介護報酬改定後の進捗状況について」 講師:茨城県社会福祉士会 会長:竹之内章代氏 参加者:65名	講義:「相談援助技術について」 講師:特別養護老人ホーム愛友園 管栄相談士:矢代あや子氏 参加者:70名	講義:「介護報酬改定後の進捗状況について」 講師:土浦共同病院 認知症看護認定看護師:門脇知己氏 参加者:81名	講義:「感染症対策について」 講師:鈴木あや子 看護師:土浦共同病院 感染管理認定 講義:「認知症について」 講師:県立中央病院茨城県地域がんセンター 認知症看護認定看護師:門脇知己氏 参加者:91名	講義:「感染症について」 講師:土浦共同病院 認知症看護認定看護師:門脇知己氏 参加者:81名	講義:「感染症について」 講師:土浦共同病院 認知症看護認定看護師:門脇知己氏 参加者:91名	講義:「感染症について」 講師:土浦共同病院 認知症看護認定看護師:門脇知己氏 参加者:81名	

講義:「ツバ」「ナーシングの視点から見るケア」ともあります。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、名々が「アイデントイティ」をもち、本来の専門職のあるべき姿を再び評することを切に望みます。	講義:「ツバ」「ナーシングの視点から見るケア」ともあります。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、名々が「アイデントイティ」をもち、本来の専門職のあるべき姿を再び評することを切に望みます。
講師:さーべー計画書」 講師:つばは国際大学 医療保健学部 理学療法 学科准教授 理学療法士 鈴木康文氏 参加者:79名 テーマ1 ～バーチャル施設見学へ行く～ ～短時間内での報告～ 講師:①ホワイトハウス千代田／理学療法士 奥山剛氏・作業療法士 成田由美子氏 ②プロスペクトガーデンひたちなか／作業療法士 長谷川萬司氏 ④フロントニア 鈴木春香の場所／理学療法士 今成敬信氏 参加者:67名	講師:さーべー計画書」 講師:つばは国際大学 医療保健学部 理学療法 学科准教授 理学療法士 鈴木康文氏 参加者:79名 テーマ1 ～バーチャル施設見学へ行く～ ～短時間内での報告～ 講師:①ホワイトハウス千代田／理学療法士 奥山剛氏・作業療法士 成田由美子氏 ②プロスペクトガーデンひたちなか／作業療法士 長谷川萬司氏 ④フロントニア 鈴木春香の場所／理学療法士 今成敬信氏 参加者:67名

職種別専門委員会委員長挨拶

～平成24年度の活動を振りかえって～

栄養専門委員会

くわみ館 鈴木 祐子

新年を迎えて、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は7月に「栄養が関わる加算について」

という内容で、特別養護老人ホーム 愛友園

の矢代あや子先生に講演をしていただきました。

また、県内の4施設からの協力により貴

重な事例発表を行うことができました。その

後の一ヶ月では、実際に取っている

加算についての取り方や疑問などを情報交換

で、今後に役立つ研修会が行えたのではないかと思います。

来年度も、研修会を開催していく予定で、

多くの参加で協力をよろしくお願いします。

リハビリテーション専門委員会

シルバーアイレッジ 国谷 伸一

前年度までの研修会実績を踏まえて、今年

度は年6回の研修会の企画を進めて参りました。

具体的な内容としましては、介護保険制

度と介護老人保健施設の概要、老健における

リスク管理、ケアプランとりハビリテーショ

ン実施計画書関連、通所リハビリテーション、

トピックスについてです。本協会会員や本会

役員・運営委員の方々のご協力により、若い

療法士を中心に多くの参加者を募ることがで

事務専門委員会

ゆづゆづ 橋本 直之

新年を迎えて、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は介護報酬改定があり、老健施設の経営

面において、より一層厳しいものとなりまし

たが、皆様方におかれましてはそれぞれ尽力

され、これまで以上に躍進されていることと

推察致します。

当委員会の活動としては、8月にあしきん

総合研究所の野内先生、影山先生をお招きし

ての接遇研修を行いました。大勢の方にご参

加いただき、接遇向上にお役立ていただけた

ことと存じます。ご協力いただきましてあり

がとうございました。

本年も皆様方のお役に立てる研修会を開催

致しますので、引き続き当委員会の運営にご

協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

支援相談員専門委員会

ライブリーライフ 「那珂」 鈴木 泰代

前年度までの研修会実績を踏まえて、今年

度は年6回の研修会の企画を進めて参りました。

具体的な内容としましては、介護保険制

度と介護老人保健施設の概要、老健における

リスク管理、ケアプランとりハビリテーショ

ン実施計画書関連、通所リハビリテーション、

トピックスについてです。本協会会員や本会

役員・運営委員の方々のご協力により、若い

療法士を中心多くの方々を募ることがで



看護・介護専門委員会

平成園 館野 富直

新年を迎えて、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、第一回目の研修会では土浦共同病

院 感染症認定看護師 鈴木 あや子様にお依頼

しては益々のご活躍を心よりお祈りいたしてお

ります。

昨年は、第一回目の研修会では、茨城県立中央病

院 認知症看護認定看護師 門脇 知己様にお依頼

しては益々のご活躍を心よりお祈りいたしてお

ります。

第二回目の研修会では、茨城県立中央病

院 感染症認定看護師 門脇 知己様にお依頼

しては益々のご活躍を心よりお祈りいたしてお

ります。

今年度も、至らない点もあるかと思いま

すが、皆様にとって実り多き研修会を提供出来

ます様、委員共々考えて行きたいと思いま

すので、御多忙とは存じますが研修会の際には、

強になりました。

今年度も、至らない点もあるかと思いま

すが、皆様にとって実り多き研修会を提供出来

ます様、委員共々考えて行きたいと思いま

すので、御多忙とは存じますが研修会の際には、

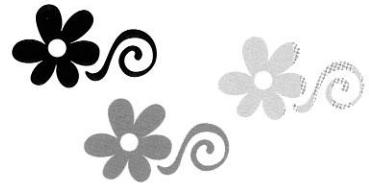
に情報交換を行つていただき、とても有意義な時間過ごすことが出来ました。

また、12月には、相談援助技術の講義形式での研修会を実施し、相談員の基礎である相談援助技術について学びました。

今後もアンケートの意見を参考にしながら定期的に情報交換会を行うなど、より良い研修会を計画していきたいと思います。

今後とも、皆様の多数の参加で協力をお願ひいたします。

新施設の紹介



夢彩の舎は、県西部の境町に入所 100 名、通所 100 名の施設として平成 24 年 4 月に開設いたしました。

開設してまだ 1 年も経っておりませんが、当初から在宅復帰を理念に掲げ、介護・看護・リハビリ・栄養・施設ケアマネ・相談員が一丸となり支援を行っています。

現在、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による個別リハビリテーションを提供し、身体機能の改善や、自宅復帰の為の退所前訪問にも力を入れ動作評

価を行っています。また、定員 100 名のうち 20 名が認知症専門ユニットとなっており、認知症の方へのリハビリも充実させてあります。

私たちは今後も、多職種間が連携しながら、在宅復帰を支援する施設として日々精進していきたいと思ってあります。

医療法人 駿仁会 介護老人保健施設 夢彩の舎

〒 306-0417
茨城県猿島郡境町大字若林 2269-1
TEL 0280-33-7300
FAX 0280-33-7341
施設長 高橋 正彦

でございます。

また、協力医療機関である『松倉中央クリニック』と連携強化をはかることで、医療と福祉の一貫したサービスを提供することができるようになり、ご利用いただいているお客様、地域の皆様の健康、福祉のお手伝いをすることができるようになると考えています。

地域に根ざした施設を作っていくため、今後とも皆様方の御指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



私たち『松寿園リハビリケアセンター』は平成 24 年 5 月 14 日開所の、社会福祉法人慈徳会が経営する介護老人保健施設です。姉妹施設として昭和 46 年開設の、特別養護老人ホーム松寿園があります。当法人の職員は運営方針である「お客様の満足を大切に、信頼される松寿園」にのっとり介護・看護・日々の活動に努めています。ここで言うお客様とは、ご利用いただいている方々はもちろんのこと、ご家族、行政機関、同業施設、医療関係、業務を委託してお願いしている各社の方々、ボランティアの皆様等、私たちと関係する全ての皆様

社会福祉法人 慈徳会 松寿園リハビリケアセンター

〒 311-2206
茨城県鹿島市武井 1961-1
TEL 0299-78-7080
FAX 0299-78-7081
理事長 松倉 則夫

みんなのたまご

はなみずき (水戸市)



●「ベル♪」
入所されているご利用者様に、生活リハビリ要素を取り入れたレクレーションの一環として手芸(クロスステッチ)を行いました。下絵から始まり、色合わせや縫う作業をご利用者様が全て少しづつ時間をかけて行ないました。
作成されたご利用者様は、「大変だったけど、とても楽しくできた！」と喜ばれ、完成品を見ながら部屋の何処に飾ろうか…と笑顔で他のご利用者様や職員に笑顔でお話していました。

ホワイトハウス千代田 (かすみがうら市)



●「笑顔の雪だるま」
ホワイトハウス通所利用者の作品です。
女の子をイメージした雪だるまなので、かわいらしく微笑んでいます。だるまの部分は障子紙を使って立体感をだしました。

けやきの舎 (古河市)



●「七福神」
福をもたらす 良い事があります様にと、ご利用者の方が創った作品です。

やすらぎ (大子町)



●葡萄 (ぶどう)
数名の利用者様とともに、折り紙約6千枚を三角に折り、根気強く進めました。作業ごとに上達し、完成時の喜びはひとしおでした。



-編集後記-



今回の表紙は「古河の桃祭り」春の訪れが待ち遠しいです。私たちの郷土茨城は自然に恵まれ災害の少ない風土の中、農業・林業・水産業と豊かな実りの地です。つくばを中心に最先端の研究・技術が実る県でもあります。“老健”が地域高齢者のリハセンター、活動的なケア・療養の資源として地域で活動を広げていること力強いです。私達を導いていただいている理事の皆様、長年“老健”に力を尽くされた先達の皆様のメッセージに元気付けられました。

新年が老健スタッフ、利用者の皆様にとって実り多い一年となりますように。

水戸事務局

水戸市千波町 1918 (月・金 9:00 ~ 13:00)
TEL .029-291-5376 FAX .029-291-6057

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

平成園

古河市旭町 1-17-39 (左記以外時間帯対応)
TEL .0280-31-5998 FAX .0280-31-7767